「建学の精神」に基づく全人教育が未知への好奇心を躍動させ夢を叶える文理オールワンキャンパスの総合大学

永田潔文（ながた きよふみ）学長

1977年九州大学理学部物理学科卒業、1979年九州大学大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程修了。専門は固体物理。工学博士。福岡大学理学部教授。理学部長や学校法人福岡大学理事・同評議員等を経て2023年より現職。

90年に及ぶ歴史と伝統を有し、建学の精神である「思想堅実」「穏健中正」「質実剛健」「積極進取」に則った全人教育を実践する福岡大学。9学部31学科、大学院10研究科34専攻を擁する、西日本屈指の私立総合大学です。創立以来、全人教育による自発的で創造性豊かな人間の育成に力を注いできました。

キャンパスが位置するのは、アジアの玄関口として名高い福岡市。ワンキャンパスに文理すべての学部が集約されている、全国でも稀な大学です。共通教育科目には、このワンキャンパスのメリットが最大限に活かされており、幅広い教養を身につけて人間性を磨くだけでなく、学部・学科を越えた多彩な人々との出会いと交流が大きな魅力となっています。

福岡大学

〒814-0180　福岡県福岡市城南区七隈８-19-１　TEL 092-871-6631　https://www.fukuoka-u.ac.jp

文理9学部の総合大学に脈々と息づく建学の精神

１９３４年に創立された福岡高等商業学校を起源とする福岡大学は西日本屈指の私立総合大学として９学部31学科を擁し、医療、スポーツを含めた文系、理系の幅広い領域の教育・研究を展開しています。同大学を巣立った卒業生は、約29万人。いずれも社会の各界・各方面で活躍し、地域社会や国際社会を力強く支えています。

福岡大学は建学の精神として、すぐれた考え方で独断や偏見に走らず一貫性を持つ「思想堅実」、温和で包容力があり偏りなく中庸を備える「穏健中正」、真心を持って責任を果たし心身ともに健やかで何事にも屈しない「質実剛健」、善いことは自ら進んで前向きに行動する「積極進取」を掲げています。

「これからは多様な個性を最大限に活かすことが、高い価値の創出につながります。大切なのは、誰ひとり取り残さないこと。性差・年齢・地理的距離を超えて、自信をもって力強く生きていくことができる人間の育成を目指していきます」と永田潔文学長は語ります。

利便性と充実した設備ワンキャンパスの魅力

福岡大学はアジアの玄関口である福岡市の中心エリアに位置し、およそ55万㎡のキャンパスに文理すべての学部および病院[1]が集約されています。緑豊かなキャンパス内[2]には全国有数の規模を誇る大学図書館、最先端設備が整った研究施設、プールや体育館をはじめとする課外教育活動施設など、充実した学びの環境があり、西日本随一の教育・研究・医療を提供しています。その恵まれた環境の中で、約2万人の個性あふれる学生たちが、専門分野の教授陣とともに知性を磨き、文理・異分野のコラボレーションや国際交流などの経験を通して、幅広く学んでいるのです。

福岡大学の特徴は、ワンキャンパスに9学部があるため多彩な教員を擁し、学生も多様な科目を学ぶことができることです。また、いろいろな志向性を持った多くの学生が在籍しているため、正課や正課外で多様な価値観に触れることができ、コミュニケーション力が高く、精神的にタフで、人間的に面白く、存在感のある人材に育っています。こうした学生たちで構成されるキャンパスは活気と自由な雰囲気にあふれており、そのためか、福岡大学の卒業生には起業をし、社長になる人も大勢います。

ユニークなキャンパスを象徴する一つが、ものづくりセンター。自由な発想で、趣味レベルのものづくりから本格的な機械加工まで幅広く楽しめる施設を構える大学は珍しいでしょう。文理問わず利用可能で、学部を越えた交流から新たなアイデアが生まれています。「人」と「もの」をつなぐ、魅力的な空間です。

異なる文化や価値観に触れる体験を重視する福岡大学は、国際交流にも注力しています。２０２４年５月現在、海外協定校は23カ国・地域にわたる93大学1機関あり、教育や学術交流を推進しています。学生が海外で学ぶプログラムとして交換留学や認定留学、海外研修などの制度を整備するほか、教員も海外派遣や国際学術会議への参加などを通して国際的な感性と知識を磨いています。外国人留学生の受け入れも積極的に行い、キャンパスにいながら国際交流ができる、多様性を実現した環境です。

キャンパスの緑地化（カーボンニュートラルへの取り組み）

多彩な共通教育科目で幅広い視野と人間性を養う

福岡大学の教育は「共通教育」と「専門教育」から構成されています。共通教育は、社会的良識と幅広い視野を持つ品格のある人材養成を目的とし、全学生を対象に、理解力と洞察力、豊かな知性と感性を育むカリキュラムで構成されています。学部・学科の枠を越えて学生たちがともに学び、人文科学、社会科学、自然科学など約90の科目から知的好奇心の赴くままに授業を選択することができます。例えば、「福岡大学で考える現代社会」という科目では、災害や環境問題、倫理感など、現代の複雑な諸問題について、学部学科を横断し、異なる領域を熟知する複数の教員・外部専門家らによるオムニバス形式でのクラスやアクティブ・ラーニングを通じて学ぶクラスが用意されています。

また、共通教育英語科目[3]では、２０２５年度から「英語を使う」をコンセプトにした新カリキュラムに変わります。履修にあたり、ＴＯＥＩＣ®ＩＰテストの結果を用いた習熟度別クラスを編成し、学生一人ひとりの英語力に応じた授業を展開し、着実なレベルアップを図ります。また、一人ひとりの苦手な部分に対応し、学習内容をカスタマイズするＥラーニング教材を導入することで効率的な学習を行うことができます。

一方、専門教育は各学部学科におけるディプロマ・ポリシーに基づき、学位取得に求められる高度なレベルの専門知識と技術を修得するためのカリキュラムで編成されています。

さらに、教職課程や博物館学芸員課程、社会教育主事課程も開設しており、それぞれの課程で定められた科目を履修することで、免許や受験資格を取得することができます。

地域や卒業生との密な連携有意義な学生生活が待つ

福岡大学では、「人をつくり、時代を拓く。」というスローガンのもと、全教職員で学生の人間的成長を支援し、教育・研究・医療の革新と振興を図り、社会の発展への積極的な貢献を目指しています。

就職活動の際には、社会の多様な業界・方面で活躍する卒業生たちが、この上なく心強い味方となるでしょう。恵まれたスケールメリットと、多彩な取り組みで個性を引き出すきめ細かいサポートという両輪で、学生たちの就職・キャリア形成は全面的にバックアップされます。

学業もキャンパスライフも大いに謳歌できる福岡大学。クラブや課外活動が盛んなことで知られる同大学には、２００を超える大学公認団体があります。全学生の約40％、およそ８０００人が参加し、野球部、サッカー部、陸上競技部、柔道部などが、毎年のように全国大会に出場し、活躍を見せています。また、スポーツの知識、経験に長けた指導者・学生、充実した施設設備といったスポーツ資源を地域課題の解決に生かす取り組みも行っています[4]。

入試情報は、独自の「入試情報サイト[5]」をチェックしてください。一般選抜（前期）で同一学科を併願する際に入学検定料を割り引く「応援割」や、入試成績優秀者を対象とする奨学制度「FUスカラシップ」など、学生を経済的に支援する制度も整えています[6]。

「社会が急速に情報化・多様化していくこれからの時代には、確実な知識の修得と実践力が求められます。過去の慣習にとらわれない新しい常識『ニューノーマル』を意識し、一人ひとりが描く明るい未来、ワクワクする夢を叶える力を、ともに育んでいきましょう」と永田学長は皆さんに呼びかけています。

福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム（FUスポまち）

(1) 福岡大学病院

福岡大学には３つの大学病院があり、臨床はもちろん、高度な医学教育および研究に取り組んでいる。2024年3月に完成した新本館は、国から災害拠点病院の指定を受け、ヘリポートを屋上に設置し、より広域での患者対応を可能とした。また、３大疾患を中心とした診療体制の強化や、感染症対応・救急医療の充実を図る。

(2) キャンパスのカーボンニュートラル

世界各国が2050年までにカーボンニュートラルの達成に向けて取り組みを進める中、福岡大学は2022年４月に推進拠点を設置。キャンパスの緑化をはじめ、カーボンニュートラルに関連する研究の推進や、大学教育を通じた人材の育成など、学生と教職員が一体となって邁進している。

(3) 共通教育英語科目

習熟度別に編成された、30人程度のクラスで授業を対面で実施予定。一方、学生一人ひとりの苦手な部分や学習すべき内容は異なるため、学習内容をカスタマイズするEラーニング教材を導入し、自分のレベルに合った効率的な学習を行うことができる。

(4) FUスポまちの取り組み

豊かなスポーツ資源が揃う福岡大学と、自治体や企業、地元スポーツチームなどでコンソーシアム（共同体）を形成し、スポーツを通じた地域の課題解決や健康増進に取り組んでいる。例えば、「中学校部活動地域移行トライアル事業募集（集合型）」では、近隣の６つの中学校の部活生を大学施設へ集め、事前講習を受けた学生が指導した。全国的にも珍しい取組として、注目を集めている。

(5) 入試情報サイト

福岡大学の入試情報サイトには、入試のスケジュールや要項、各学部・学科の情報などが掲載されている。説明会や在学生による学生生活紹介動画など、進学に関する情報を確認できる。

(6) 奨学制度

日本学生支援機構奨学金への推薦および独自の奨学生制度を実施。その他にも地方自治体、民間育英団体による奨学制度が広く利用されている。福岡大学の学生の約５割が、いずれかの奨学金を受給している。